

第26回 MQI活動

2021年度MQI統一主題

おさめる
基本を順守した医療 - 治める・斂める・理める・修める・納める -

2021年度 MQI活動キックオフ
推進委員長 柳川達生

第25回医療の質向上(MQI)活動は、令和2年12月7日当院地下講堂にて開催しました。今回は新型コロナウイルス感染症の時代、Webと院内会場とのハイブリッド方式で開催いたしました。29の外部機関のサイトと、職員165名の参加し、4チームとプロジェクト3チーム計7演題の発表でした。前日の準備段階ではつまづきの連続でしたが当日は概ね首尾よく運営できました。

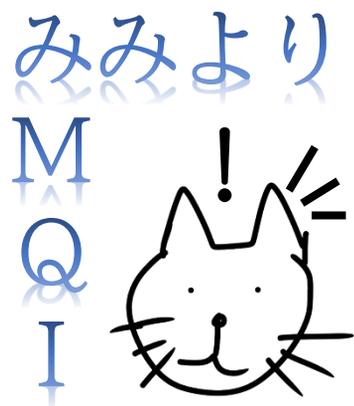


さて安堵もつかの間、26年目の活動が始まりました。今年度の統一主題は「おさめる～基本を順守した医療～」です。新型コロナウイルス感染症蔓延し近隣病院がクラスターに見舞われる中、当院は何とか切り抜けてまいりましたが、ついに令和3年2月に職員のクラスターを発生させてしまいました。ようやく落ち着いた3月25日にキックオフ開催です。3密を避け、できるだけ多くの職員に参加していただくため、本年度は動画配信としました。MQIは業務改善、職員の業務遂行能力・管理能力の向上、部署間調整の推進という目的があります。重要な目的があるからこそ活動は「基本を順守しておさめる」必要があります。チーム員のみならず職員の皆様の積極的関与を期待します。

今年は感染予防のため、Comedixによる動画配信形式となりました。

- ① 練馬総合病院におけるMQI活動の実践(飯田理事長)
- ② MQIキックオフ(柳川院長)
- ③ MQIで実現してきたこと (MQI推進委員 平瀬)

Comedixの「お知らせ」→「MQI キックオフ」で検索すると、いつでも動画視聴が可能です。



発行(公財)練馬総合病院MQI推進委員会
〒176-8530 練馬区旭丘1-24-1
TEL.03-5988-2200(代)

今年度推進委員紹介
半日で計画を立てる会
MQI活動キックオフ

“みみよりMQI”

今回、心機一転、デザインを変更しました。3代目のデザインになります。MQI活動開始2年目から、手作りで作成してきました。「MQI活動のみみよりの情報を掲載して、職員にMQIを知ってもらいたい」、「興味を持ってもらいたい」と院内向け広報誌として発行を続け、貴重な記録にもなっています。張り切って年9回発行したこともありましたが、無理しても続きません。皆様にMQIを身近な存在として感じてもらえるような紙面づくりを心掛けて、推進委員も努力しておりますので、ご意見あればお願いします。

副委員長 金内

MQI 半日で計画を立てる会 2021.5.15

推進委員長 柳川達生

5月15日の土曜日「半日で計画を立てる会」を開催しました。今年は55名が参加しました。2月に新型コロナウイルス感染症のクラスター発生となり厳しい状況から立ち直ったの開催です。被害を最小限にとどめたのもMQIで培った組織力の賜と思います。本年度は役職者ができるだけ活動を理解し関わっていただけるように運営したいと考えました。しかし全員会場に参加していただくとなると密となってしまいます。そこで当日の様子を録画で残し、後日期限内に視聴して質問、意見を必ず提出するように求めました。期待通り多くの意見をいただきチームの参考になったと思います。

今年度の統一主題は「おさめる～基本を順守した医療～」です。当日の発表、質疑の場では活発な議論がかわされました。それらをしっかりと活動内容におさめるには乗り越えなければならないいくつものハードルがあります。一つひとつずつ乗り越えて活動を成功させましょう。

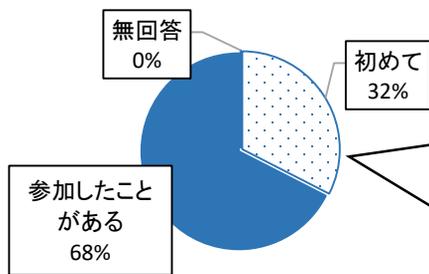
2021年度参加チーム紹介

テーマ・チーム名/ 主体部署・リーダー・サブ	チームリーダーからひとこと
『心大血管リハビリテーションの運用を見直す』 チーム名:vsパピロおじさん リハビリテーション科 小吹伸也・青山駿	今回、2年前のMQI活動で運用を開始した心不全パスを始めとして心臓のリハビリテーションについて見直していければと考えています。まだまだ勉強不足で至らない点も多いですが温かい目で見守って頂けると幸いです。 
『患者サポートの体制を整える』 チーム名:窓の外は碧空 看護部 吉岡千春・宮地幸子	外来は患者と接する時間に制限があり、ゆっくり話を聞く機会が少なく、検査説明など定型になりがちです。病院正面を患者の為の窓口として整え、専門職が解りやすい説明を行う事で患者の不安や心配事の解決の糸口が見つかり曇った心が晴れわたるように活動していきたいと思います。 
『造影検査の推奨基準を見直し、基準値を越えた際の対応を標準化する』 チーム名:ラジエーションハウス 放射線科 岩渕真耶・安上尚吾	今年は数年前から何度か候補に挙がっては先送りとなっていたテーマを取り上げました。基準を変える事が前提となるため改訂すべき項目も多いですが、他部署と協力しチーム一丸となって取り組みたいと思います。 
『外来ポリファーマシー対策の推進』 チーム名:ポリファーマシー(仮) 薬剤科 大矢沙也可・伊藤鹿島	ポリファーマシー(多剤併用)により薬物有害事象のリスク増加が知られており、厚生労働省からは特に高齢者に対してポリファーマシー対策が推進されています。今回の活動を機に、当院外来の患者に対して薬剤師が薬物療法をアセスメントし、処方方の適正化に貢献したいと思っています。ご協力よろしくお願いします。 



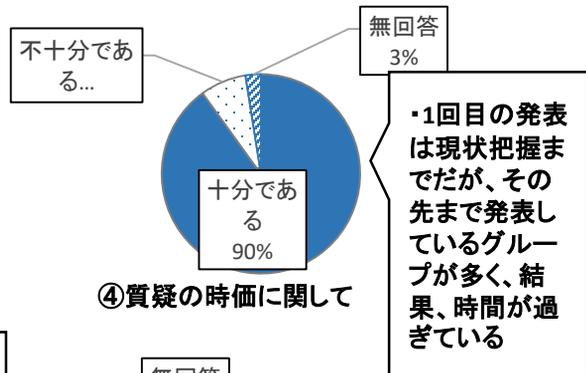
アンケート結果

①これまで1日で計画を立てる会に参加したことがありますか

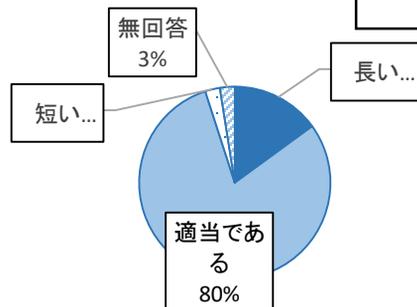


・1日でやるより半日でちょうど良かった
 ・事前準備をしているチームとそうでないチームの差が大きく、議論が深まらない事があった
 ・他チームの方の意見がききたかった、自分たちだけではわかったつもりになっている

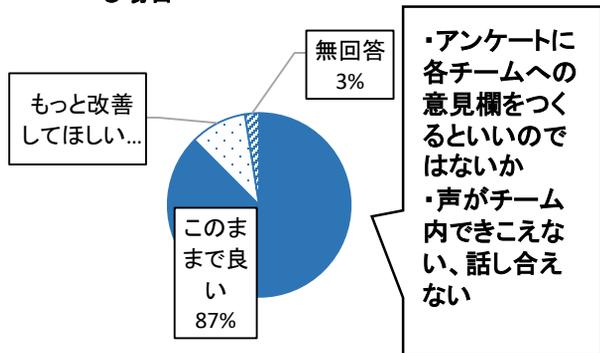
②グループワークに入る前の全体説明に関して



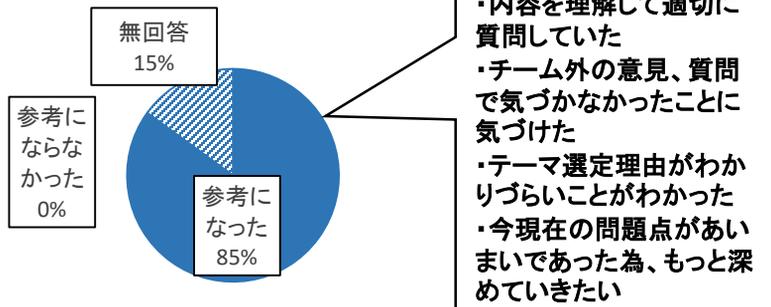
④質疑の時価に関して



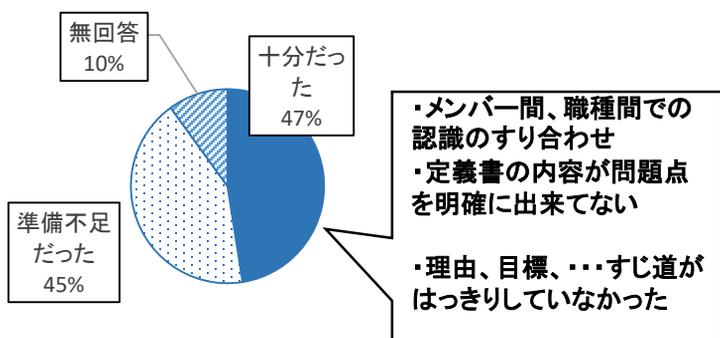
⑥来年もこのような会を開催する場合



③他チームの発表を聞いて



⑤自チームの事前準備に関して



感染予防の観点から、昨年同様「一日」ではなく「半日」となりました。また今回からZOOMでのリモート参加を実施しました。お忙しい中一部の役職者にはご参加いただきましたが、救済措置のつもりで用意した動画視聴に大多数が流れてしまったことは非常に残念でした。オンラインで討議に参加できる目途もたちましたので、役職者の方には今後このようなイベントで積極的にご参加いただき、ご意見をいただけることを強く期待します。

2021年度 MQI推進委員会メンバー

委員長 : 柳川 達生 (院長)
副委員長 : 金内 幸子 (医療の質管理室)

委員 : 東 宏一郎 (内科医師)
 ☆はNEWFACE 小谷野 圭子 (質保証室)
 橋本 健太郎 (リハビリテーション科)
 近藤 拓也 (医事課)
 小林 裕子 (質保証室)
 喜多 哲史 (内視鏡センター)
 堀 裕士 (質保証室)
 二石 京子 (看護部・4F)
 栗原 真吾 (臨床検査科)
 平瀬 陽子 (薬剤科)
 ☆新貝 高弘 (放射線科)
 ☆斉藤 千絵 (看護部・手術室)

事務局 : 佐久間 涼司 (人事経理課)

2021年度 MQI活動予定表

3/17	5/15	6/14,21	8月	10月	11月	12/4	2月	
(キ 動 画 配 信)	半 日 で 立 て る 計 画 を 会	チ ー ム 別 相 談 会 ①	チ ー ム 別 相 談 会 ②	予 演 会	発 表 ス ラ イ ド ※ 切	報 文 集 作 成	発 表 大 会	継 続 フ ォ ロ ー の 会

※状況により予定が変更になることがあります

今年度のMQI発表大会は12/4(土)に開催予定です。今年度も発表大会までに報文集作成を完了します。MQIでは活動プロセス評価を導入していますので、提出物の遅れがないよう、※切にご注意ください。

第1回チーム別相談会を6/14(月)、6/21(月)に開催します。各チームは準備を進めてください。

あまり気負わず、活動は楽しんでやりましょう。